

暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして  
みんなが  
仲でよかつた  
と思える川西市に...

たんぽぽだより  
日本共産党川西市議会議員 黒田みち

市会議員団控え室 TEL 740-1111 (内線4020)  
直通FAX 759-1811  
黒田みち事務所 TEL 795-4760  
たんぽぽだより2014  
http://kurodamich.exblog.jp



# 阪急バス本社へ7項目要望

## 安心して住み続けられるまちづくりを!



阪急バス本社にて  
補助や無料パス制度があり

返納のための  
運転免許自主  
では、高齢者の  
他の自治体  
が、増額を求め  
る声がたくさん  
あります。  
また、おでかけ促進事業  
の年間1人当たり3000  
円の交通費補  
助があります  
が、増額を求め  
る声がたくさん  
あります。  
また、おでかけ促進事業  
の年間1人当たり3000  
円の交通費補  
助があります

日本共産党議員団は8月13日、市民の方と一緒に阪急バス本社を訪問し、議員団が実施したアンケートなどに寄せられた要望や意見をまとめた「申し入れ」書を提出し懇談しました。  
要望したのは、①低床バス(ワンステップ・ノンステップ)を増やすこと、②乗り継ぎ料金制の導入、③増便、最終便の時間を遅くすること(最終電車の時刻と連携を)、④萩原台、松が丘の路線40分間隔を短く、⑤けやき坂4丁目に新しいバス停の設置を、⑥平野、GHのバス料金引き下げを、⑦バス料金の引き下げを...の7項目。

私達市民も、バスや電車、タクシーといった公共交通の利用をすすめる、みんなで知恵と力を出しあって「住みやすいまちづくり」をしていきたいと思います。

は、現在、川西市と猪名川町が共同で、毎年2台分の低床バス推進のための補助金を出しています。  
また、おでかけ促進事業の年間1人当たり3000円の交通費補助助があります

私(黒田)は7月31日、阪神間の超党派議員11名で兵庫県庁を訪れ、8月31日に芦屋市南芦屋浜で開催される「兵庫県・阪神地域合同防災訓練」に米軍を参加させないよう申し入れ、杉本防災監ら担当者と懇談しました。

### 米軍参加に反対の申し入れ書提出

要請したこと、自治体の意見を聞かず、自治体間の意思疎通や情報の共有の欠如など根本的な諸問題が出されました。防災訓練とはいえ、背景には安倍自公政権がすすめる、「日米軍の一体化で戦争できる国作り」があり、国民は危機感を募らせています。

私達市民も、バスや電車、タクシーといった公共交通の利用をすすめる、みんなで知恵と力を出しあって「住みやすいまちづくり」をしていきたいと思います。

しかし、県からは防災計画の内容も示されず、市民からは憤りや不安が高まっています。合同訓練の実施概要が明らかになったのは8月4日でした。  
申し入れと懇談では、それぞれの関係自治体が知らない間に突然、知事が米軍に参加

米軍の参加は、兵庫県井戸知事が県下の自治体に知らせないまま突然、米軍に要請したものの、52名の超党派議員、市議がただちに「米軍参加に反対する申し入れ書」を知事と各自治体首長宛てに提出しました。

私は、基地のない県では初めての米軍参加であること、日米共同訓練や県上空をヘリコプターが飛び交う実態を作り出し、「戦争する国」に突き進むのはおかしい、と米軍参加の中止を求めました。

要請したこと、自治体の意見を聞かず、自治体間の意思疎通や情報の共有の欠如など根本的な諸問題が出されました。防災訓練とはいえ、背景には安倍自公政権がすすめる、「日米軍の一体化で戦争できる国作り」があり、国民は危機感を募らせています。

私達市民も、バスや電車、タクシーといった公共交通の利用をすすめる、みんなで知恵と力を出しあって「住みやすいまちづくり」をしていきたいと思います。

★抗議集会  
8月30日(土)  
午後4時~5時半  
芦屋市宮塚公園  
★抗議行動  
8月31日(日)  
朝9時~  
潮芦屋  
フリーゾーン  
芦屋地区実行委員会主催

### 問題多い「子育て新制度」、保育の質・保育料の改善必要

来年度からはじまる国の「子ども・子育て支援新制度」。川西市でも就学前のこどもを「3~5歳児幼稚園」、「3~5歳児保育所」、「0~2歳児保育所」の3つに区分し、それぞれ「教育・保育」を実施する計画です。(来年度、民間園の新制度移行は自由)

公立幼稚園は、来年度から現在の一律保育料(4、5歳児で月8000円)から、所得に応じての保育料に変更。国基準並みでいくと現行保育料の3倍くらいになる世帯も出てきます。

国の制度変更で保育料だけ跳ね上がる仕組みの導入はやめ、市としての対応策を取り、保護者への制度説明を急いで行うべきです。

保育所は、保護者の勤務時間などで預けられる時間を決める「要保育時間認定」がはじまります。国の基準では、上限を「8時間」と「11時間」に区分認定され、保護者が必要とする時間が認定されないケースや急な残業による認定外保育料の負担増などが懸念されています。

また、保育料はほとんど変わらないという矛盾を生むことが明らか。保護者と子どもに混乱だけを持ち込む「時間認定」はやめるべきです。

保育の質に関わる保育士の配置は、現在の認可園では「全員有資格保育士」ですが、「家庭的保育事業」では、資格のない人も認められます。これには保護者の懸念が強く、この間のパブリックコメントに134人、201件の意見が寄せられ、保育士資格を持った職



兵庫県庁にて

→員配置の比率があげられ前進しています。しかし、子ども達の教育・擁護を保障するためには、全員が保育士資格とすべきです。

幼稚園でも保育所でも、子ども達の最善の利益をなによりも優先し、保護者に負担を押しつけることなく、現場に混乱を持ち込まないよう国にも市にも求めています。



# 被爆地 不戦誓う

## 集団的自衛権に怒り

### 長崎式典 安倍政権は耳傾けよ

アメリカによる長崎への原爆投下から69年の9日、長崎市で原水爆禁止2014年世界大会・長崎「ナガサキデー集会」と、主催の平和式典が行われました。世界大会でも式典でも、核兵器の非人道性を語り広げ、禁止条約の交渉開始を求める国内外の圧倒的な世論と運動の大切さがうたわれました。

田上富久市長は「長崎平和宣言」で、「戦争する国づくり」につきすすむ安倍晋三首相を念頭に、「憲法に込められた『戦争しない』という誓いは、被爆国日本の原点で、被爆地長崎の原点だ」と表明。集団的自衛権の行使容認への不安と懸念の声を耳を傾けるよう政府に強く求めました。

## 核兵器のない世界を今こそ

平和公園で開かれた長崎「兵器のない世界」の実現の市主催の平和式典は、第2会場も含め5900人が参加し、原爆犠牲者を追悼しました。原爆投下時刻の前11時2分に黙とうしました。

田上富久市長は、「長崎平和宣言」で、核兵器の恐怖は「世界がかかえる、今と未来の問題」として、「核不拡散条約(NPT)再検討会議にむけ、核兵器保有国とその傘の下にいる国々に呼びかけます。『核



きたとして、日本国憲法に込められた「戦争しない」という誓いは、被爆国と被爆地の原点だと強調。「その平和の原点が揺らいでいる」という不安と懸念の声に、日本政府は、真摯に向き合い、耳を傾けることを強く求めます」としました。

被爆者代表の城臺美彌子さんが「平和への誓い」を読みあげました。6歳の時に被爆した当時の状況を語りながら、「この恐ろしい非人道的な核兵器を世界中から一刻も早くなくすこと。禁止条約の早期実現が必要だ」と訴えました。また、「集団的自衛権の行使容認は、日本国憲法を踏みこじった暴挙です」と批判しました。

安倍政権が進める集団的自衛権の行使容認の核心部分は、軍事力を軍事力で押さえつける「抑止力」です。さらに、「核抑止力」は一体のもので、逆に言えば、「戦争する国」づくりと「核兵器のない世界」は、根本的に相いれないのです。

首相はあいさつで「非核三原則を堅持」すると言及して「戦争する国」づくりと「核抑止力」は一体のもので、原則をいかに守りつづけてきたと述べ、「この過ちを繰り返さない保障は、国際紛争の解決の手段として戦争と武力の行使と威嚇を永久に放棄した憲法9条だ」と訴えました。

首相は「戦争をする国になるという考えは毛頭ない」とごまかしました。7団体の要望書は政府に対して「日本国憲法の精神を消し去ろうとしている」と懸念を示し、憲法が戦争の悲惨・痛苦の体験からつくられたと指摘。日本はこの憲法の下で一人の外国人も殺さずきたなどと述べ、「日本国憲法が『国民のいのちを守ってきた』と強調しています。

終了後、吉岡氏は報道陣に対し、「首相の回答はごまかした。信用できない」と話しました。

(竹下岳)

## 原水爆禁止世界大会・広島

## 署名410万人分を国連代表に

広島県内の七つの被爆者団体の代表7氏が6日、広島市で安倍晋三首相と会談し、要望書のなかで集団的自衛権行使容認の「閣議決定」について「現行の憲法解釈ではいのちと安全が守れない」という主張は歴史的事実を偽り、被爆者の願いに背くものだ」と批判し、撤回を求めました。首相は「国民の命と平和な暮らしを守るためだ」と強弁しました。

## 「閣議決定」撤回を被爆者が首相に迫る

会談で、広島被爆者団体連絡会議の吉岡幸雄事務局長は、平和公園の記念碑の石棺に「安らかに眠って下さい。過ちは繰返させぬから」と刻まれていることに言及。その上で、「閣議決定」を「この碑文の誓いを破り、過ちを繰り返すものだ」と厳しく批判し、撤回を求めました。

吉岡氏は16歳で被爆した